

自然環境の保全管理の方向

当公園には、東京湾随一の海から森へとつながる広大で多様な自然があります。

「自然環境の保全管理の方向」では、多様な自然を保全とふれあいの度合いによって5段階に分け、様々な生物とそれとをとりまく多様な自然環境に効率的にふれあい学べるようにします。

3 自然環境の保全管理の具体的施策

- ・「海～森のエコトーン」の自然の積極的再生
- ・「里山・里山・谷戸」の自然の積極的再生
- ・「サンクチュアリ（聖域）」の設定
- ・他の生物の生息環境を脅かす「外来種除去」
- ・「自然観察・ふれあいの場」の設定

※ 外周民地・道路や園路に面した場所で、法面崩壊防止対策が必要な箇所や、良好な展望ポイント、また死角により来園者が危険を感じるような箇所では、選択的枝落しや伐採を実施する。

1 現存植生（ベース図）の色の凡例

(H14年 エコアップ調査報告書をもとに作成)

照葉樹林-1 (シイ・タブ・シロダモの極相林)	高茎草地 (ヨモギースキ群落)
照葉樹林-2 (マテバシイ)	低茎草地 (チガヤースキ群落)
混合林 (常緑70%、落葉30%)	アズマネザサ群落地
落葉樹林-1 (カラスザンショウ・クサギ)	海岸草地
落葉樹林-2 (クスギ・コナラの二次林)	湿生草地
岩盤露頭地植生	造園・園芸植物植栽地、花壇
シバ草地	裸地

2 目標とする生物多様性の保全区分

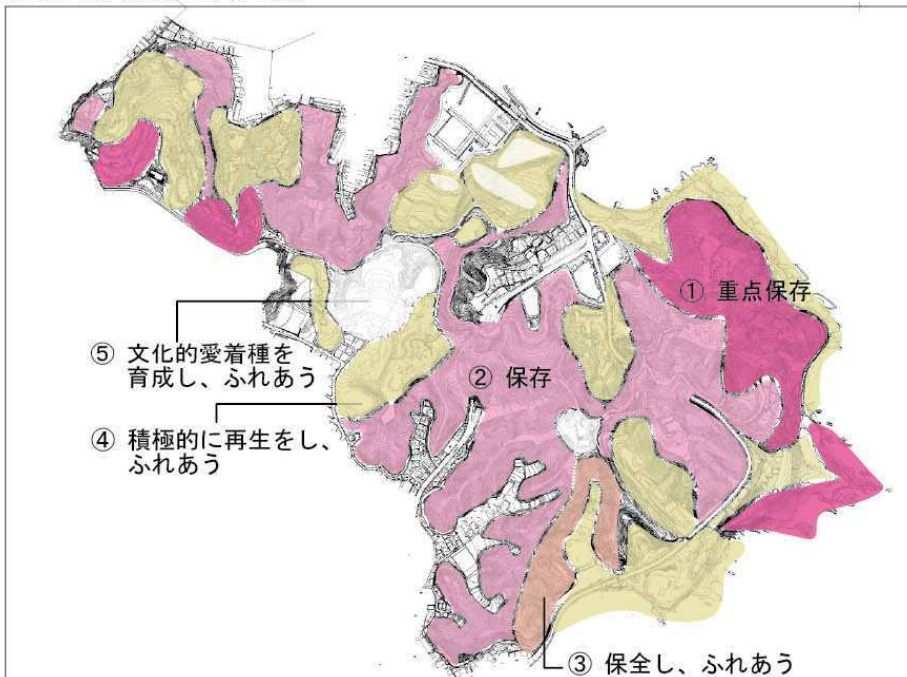
目標とする自然のタイプ

聖域	ふれあい	人の利用があり、里山・里地・里海といった人と良好なつきあいをしていく自然。
原生の自然または人が直接利用しないが、積極的に見守る自然。		

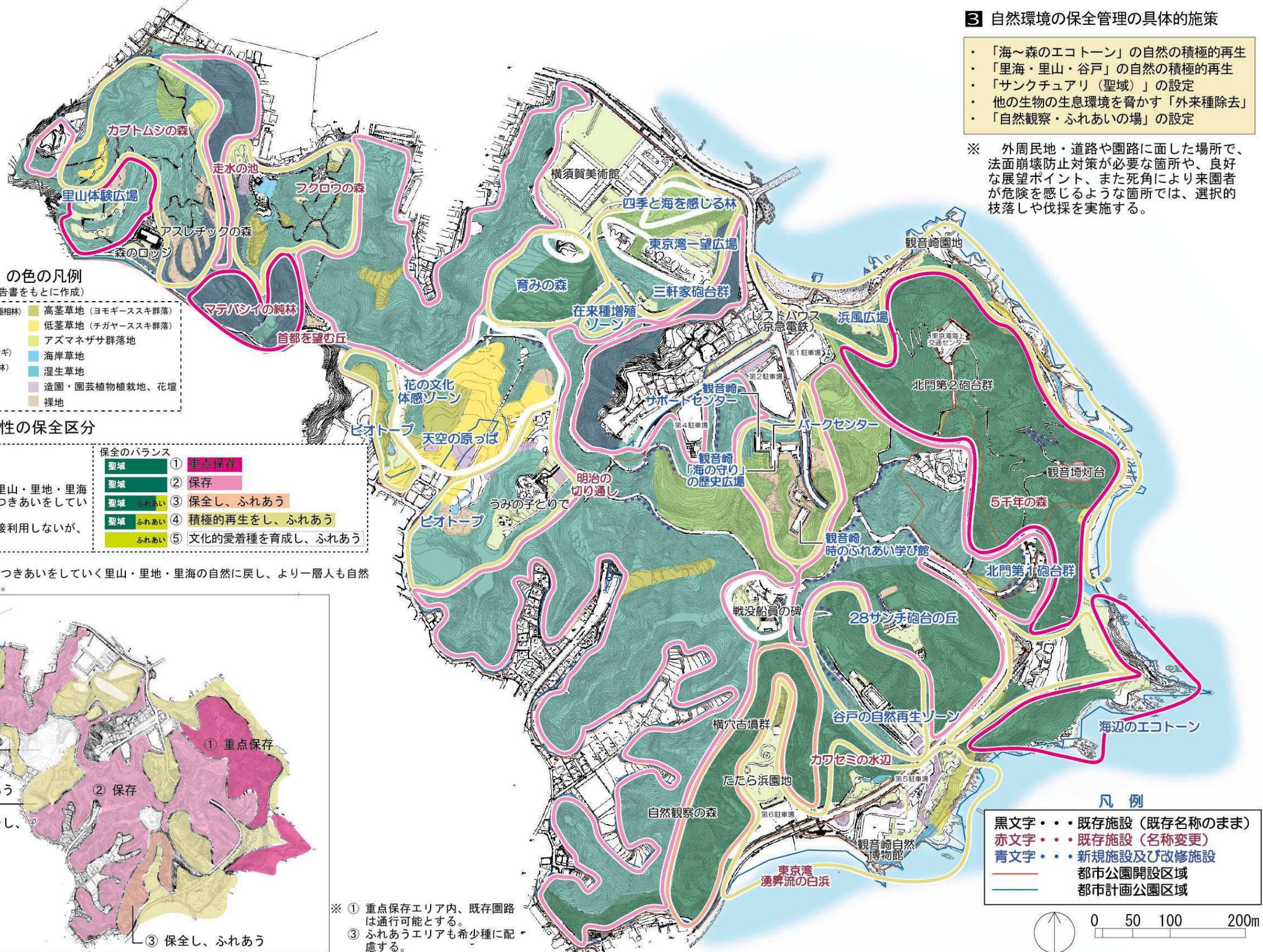
保全のバランス

① 重点保存	② 保存	③ 保全し、ふれあう	④ 積極的再生をし、ふれあう	⑤ 文化的愛着種を育成し、ふれあう
--------	------	------------	----------------	-------------------

ここでの「再生」とは、もとの原生自然や、人と良好なつきあいをしていく里山・里地・里海の自然に戻し、より一層人も自然も生き生きできるようにすること。



※ ① 重点保存エリア内、既存園路は通行可能とする。
③ ふれあうエリアも希少種に配慮する。



凡例

黒文字	既存施設 (既存名称のまま)
赤文字	既存施設 (名称変更)
青文字	新規施設及び改修施設
赤線	都市公園開設区域
青線	都市計画公園区域

